

製品名: Flt3 (リン酸化 Tyr599) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04685**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	160kDa

抗原情報

遺伝子名	FLT3 FLT3; CD135; FLK2; STK1; Receptor-type tyrosine-protein kinase FLT3; FL cytokine receptor;
別名	Fetal liver kinase-2; FLK-2; Fms-like tyrosine kinase 3; FLT-3; Stem cell tyrosine kinase 1; STK-1; CD antigen CD135
遺伝子 ID	2322.0
SwissProt ID	P36888
免疫原	抗血清は、ヒト FLT3 由来の Tyr599 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 565-614

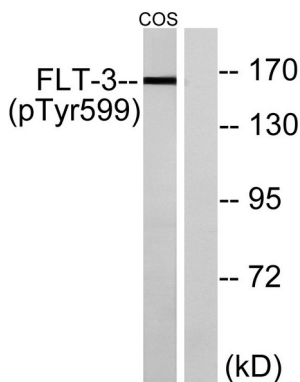
背景

この遺伝子は、造血を制御するクラス III 受容体チロシンキナーゼをコードしています。この受容体は、細胞外ドメインへの fms 関連チロシンキナーゼ 3 リガンドの結合によって活性化され、細胞膜におけるホモ二量体形成を誘導し、受容体の自己リン酸化を引き起こします。活性化された受容体キナーゼは、その後、骨髄における造血細胞のアポトーシス、増殖、分化に関与する経路において、複数の細胞質エフェクター分子をリン酸化・活性化します。この受容体の恒常的活性化をもたらす変異は、急性骨髄性白血病および急性リンパ芽球性白血病を引き起こします。[RefSeq 提供、2015 年 1 月]、触媒活性: $ATP + a \text{ [タンパク質]}\text{-L-チロシン} = ADP + a \text{ [タンパク質]}\text{-L-チロシンリン酸}$ 。、機能: FL サイトカインの受容体。チロシンキナーゼ活性を有する。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。チロシンキナーゼファミリー。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。チロシンキナーゼファミリー。CSF-1/PDGF 受容体サブファミリー。、類似性: 1つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、サブユニット: リガンド活性化後に FIZ1 と相互作用する。、組織特異性: 骨髄細胞。、

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;造血細胞系譜;癌における経路;急性骨髄性白血病;

画像データ



EGF 200 ng/ml 30 分処理した COS7 細胞ライセートの FLT3 (リン酸化 Tyr599) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。